

100年後の海へ ～ 私たちに、今できること～

関西大学北陽高等学校 海洋プログラムチーム2022 太田健一郎・北村朋煌・肥田佳子

関西大学北陽高等学校におけるアマモ場再生活動は、2017年沖縄の海で「海洋ゴミ」について学び、「海洋教育パイオニースクールプログラム」に採択されたことがきっかけで始まりました。

『海』から遠く離れた地域に住む私たちは、海を知る地域の方々と関わる中で『海』への理解を深め、「アマモ場再生活動」をスタートさせました。そして、活動を続ける中で、こうした学びを小・中学生や地域の方々に伝えることの重要性に気づき、海と人、人と人とを繋ぐプログラムの構築に取り組んでいます。

～ 活動内容 ～

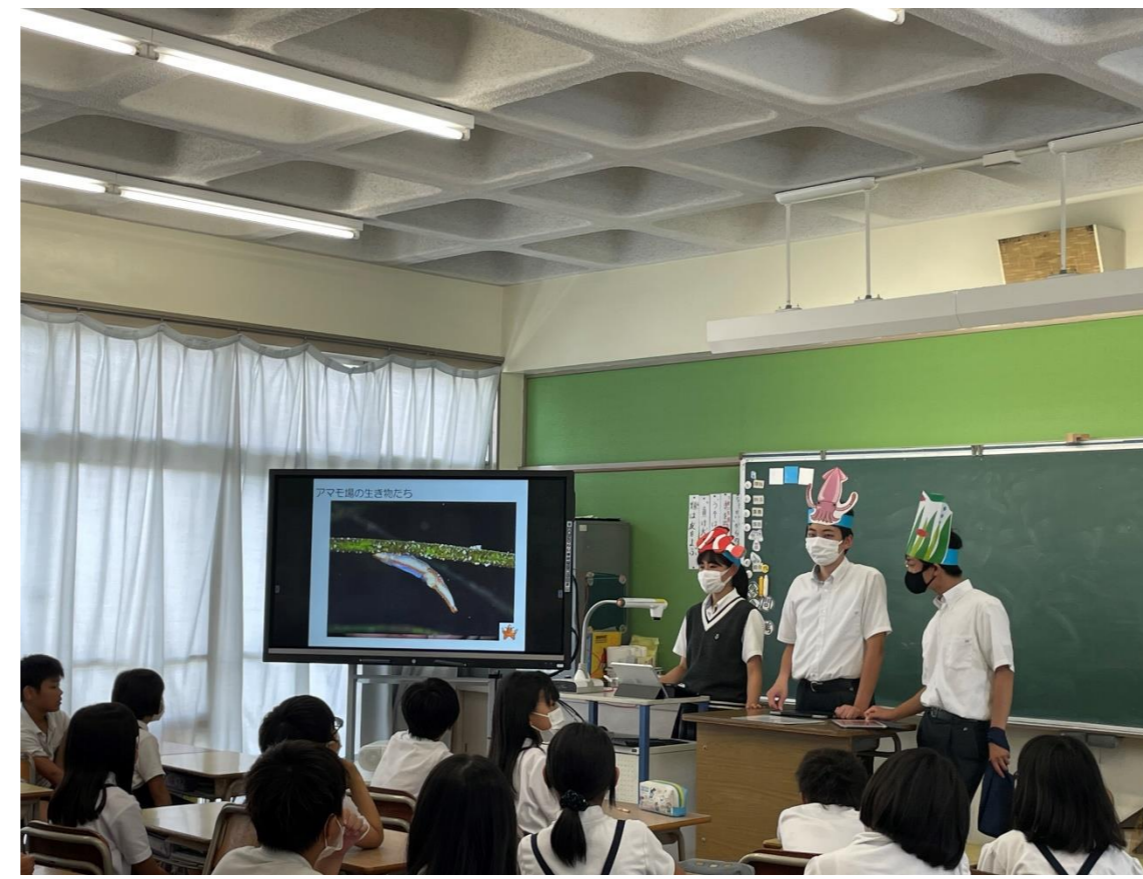
異校種間プログラム 高校生の学びを小・中学校生に伝える 『出前授業』

～ つながる小さな手と手、そして海へ～

目的：未来に豊かな海を残すために『今できること』があることを、多くの人に伝え、海を守りたい仲間を増やす

出前授業①『アマモってなあに???』

- 1) 大阪湾に住む魚を学ぶ
- 2) アマモについて学ぶ
- 3) 豊かな『大阪湾』を未来へつなぐ方法を考える



写真① 「出前授業」の様子



写真② ビーチクリーン



写真③ 地引網

出前授業②『大阪湾 アマモ場で体験学習』

- 1) 「ビーチクリーン」海洋ゴミへの理解を深める
- 2) 「地引網」アマモ場の生き物調査
- 3) 豊かな海「大阪湾」を未来へつなぐ方法を考える

人と海・人と人をつなぐ活動

高校生から中学生へ・中学生から小学生へとつながる活動

出前授業③

- 1) 高校生の花枝採取 ※写真④
- 2) 中学生の種子選別 ※写真⑤
- 3) 小学生の苗床作り ※11月実施



写真④ 花枝採取



写真⑤ 種子選別

保健体育 探究学習 (SDGs) 高校2年生保健3単元「社会生活と健康」

目的：海洋問題が様々な環境問題と繋がっていることを学び、私たち一人ひとりが「環境にやさしい」ライフスタイルを選択できる能力を養う

授業内容①環境問題について理解を深める

国連海洋法条約の定義で海洋汚染の原因は6つに分類されている。その中の「陸からの汚染」「投棄による汚染」「大気からの汚染」について学び、海洋汚染の原因を「自分ごと」として捉えることができるようになる。

授業内容②海洋汚染を防ぐためにできることを探究する

海洋汚染に対する取り組みについて調べ、「私たちにできること」を提案し検証する。その結果をもとに「環境にやさしいライフスタイル」を選択できるようになる。

授業内容③SDGsについて理解を深め、私たちが取り組めるSDGsを提案する

持続可能な社会の実現に向けて、地球が抱える問題を「自分ごと」「日本ごと」「世界ごと」と捉え、100年後の海のために「私たちに今できること」を提案できるようになる。

～ 謝辞～ 私たちが「アマモ場再生」活動に取り組むことができたのもNPO法人環境教育技術振興会 岩井克巳さんをはじめ多くの皆様のお力添えがあったからです。温かいご支援をいただきましてありがとうございます。また、この活動は2017年度より笹川平和財団「海洋教育パイオニースクールプログラム」の助成により実施しております。すべての皆様に感謝し、今後も「アマモ場再生」活動に取り組んで参ります。